

平成26年度特定非営利活動に係る事業報告

平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 文化財保存支援機構

(1) 特定非営利活動に関する事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	受益者の人数		
①文化財保存技術の研究開発	文化庁補助事業「津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト」への協力	①陸前高田ワークショップへの協力 ②三重ワークショップへの協力 ③東京ワークショップへの協力 ④ガイドブック編集への協力 ⑤展覧会事業への協力 ⑥シンポジウム開催への協力	①8月1日、2日 ②11月21日 ③1月30日 ④通年 ⑤1月14日～3月15日 ⑥3月11日	①陸前高田市立博物館 ②三重県立美術館 ③東京芸術大学 ④本部事務所 ⑤東京国立博物館 ⑥東京文化財研究所	職員 1名 スタッフ 3名	日本博物館協会所属館学委員 一般社会	不特定多数	本部
	異工・文化財閲覧機設計準備事業	美術工芸品修理設計ソフトの研究開発	通年	会員の自宅	2名以上	行政の文化財担当、文化財所有者、	不特定多数	関西
②文化財保存修理専門家の養成・研修事業	文化財保存修復専門家養成実践セミナー(レベルI・Bコース)	専門家を目指す学生、若手技術者を対象とした、文化財の保存修復全般にわたる実践的セミナー。	26年9月1日～11日 (9日(火)を除く、全10日間)	東京国立博物館不講堂 東京芸術大学 登録有形文化財 市田邸 他	会員 12名 非会員 2名 学生会員9名 学生非会員 2名 講師 21名 見学工房代表 3名 スタッフ 5名	・文化財保存修復の専門家を目指す若手技術者及び学生	26名	本部
	文化財危機管理セミナー「陸前高田学校」～文化財保存修復専門家養成実践セミナー(レベルII・Aコース)として～	レベルI修了生と被災地の文化財保存従事者を対象に、文化財の危機管理について学ぶ実践的セミナー。実習を中心としている。	26年7月28日 ～8月3日	陸前高田市立博物館 若手県立博物館	会員 6名 学生会員 2名 被災区域からの参加者 3名 陸前高田市立博物館職員 17名 講師 11名 スタッフ 3名	・文化財保存修復の専門家を目指す若手技術者及び学生 ・被災区域の文化財保存従事者	28名	本部
	文化財保存修復セミナー	これから文化財について学ぼうとする学生や一般市民を対象として、文化財の保存修復全般の基礎を学ぶセミナーの、講師アレンジ及び、平成25年度の講義録編集	26年4月～12月	本部事務所	職員 1名 スタッフ 2名	関西大学国際文化研究センター		本部
	田川市山本作兵衛コレクション保存修復及びデジタルデータレプリカ作成事業	記憶遺産に認定された福岡県田川市の山本作兵衛作品の保存処置と、レプリカ作成のコーディネート	通年	九州国立博物館、その他	会員 2名 外部協力者 数名	・田川市 ・一般市民	不特定多数	関西
	連盟京都府行政文書修復支援	京都府の行政文書を調査	通年	京都国立博物館文化財修理所			不特定多数	関西
	ポーランド世界遺産スタディツアー	専門家講師と共に、世界遺産遺跡を見学	26年10月18日～25日	ポーランド ワルシャワ、クラコフ、アウシュビッツ、トルン、ロント	会員 5名 非会員14名 講師 2名 スタッフ 1名	世界遺産に興味を持つ会員及び一般市民	19名	
③災害救援活動	東日本大震災被災文化財救援事業 抜本修復	陸前高田市立博物館所蔵 拓本軸装20点 抜本修復	26年4月1日～27年3月31日	会員の工房	6名	陸前高田市立博物館及び陸前高田市市民	不特定多数	本部
	東日本大震災被災文化財救援事業	陸前高田市立博物館所蔵民俗資料専門的整理作業業務	26年5月1日～27年3月16日	陸前高田市立博物館	3名	陸前高田市立博物館及び陸前高田市市民	不特定多数	本部
	東日本大震災被災文化財救援事業	陸前高田市立博物館所蔵美術資料技術修復業務(書)	26年7月1日～27年3月31日	陸前高田市仮設被災文化財保存修復施設(若手県立博物館内)	7名	陸前高田市立博物館及び陸前高田市市民	不特定多数	本部
	東日本大震災被災文化財救援事業	陸前高田市立博物館所蔵美術資料技術修復業務(水彩画・版画/アクリル画・油彩画)	26年8月1日～27年3月31日	陸前高田市仮設被災文化財保存修復施設(若手県立博物館内)	12名	陸前高田市立博物館及び陸前高田市市民	不特定多数	本部
	東日本大震災被災文化財救援事業	陸前高田市立博物館所蔵美術資料技術修復業務(地籍図現状調査及び応急措置)	26年10月1日～3月31日	陸前高田市立博物館	4名	陸前高田市立博物館及び陸前高田市市民	不特定多数	本部
	東日本大震災被災文化財救援事業	文化財ER	通年	京都造形芸術大学	2名以上	東日本大震災被災区域住民	不特定多数	関西

(2) その他目的を達成するために必要な事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	受益者の人数		
情報の発信	ニュースレター発行	季刊誌「NPO JCP NEWS」No.29発行	通期	当機構事務局	4人	会員、文化財関連団体	不特定多数	本部
その他	文化財保存修復学会運営協力	文化財の保存修復専門家が多数所属する学会の運営協力支援	通年		事務局 3名	学会員	学会員約1,000名	本部
各種依頼、相談受付、技術者紹介等	①万延元年遣米使節の会から、旗の修理相談 ②ギャラリー所蔵 現代美術修復依頼 ③修学旅行訪問学習の依頼(名古屋国立立上中学校) ④法泉寺所蔵 釈迦如来坐像修復相談 ⑤専門職員公募広報依頼 ⑥進路相談 ⑦文化財保存復元技術展共催	随時	当機構事務局	専門家、工房など数件	相談者	8件	本部	